

アメリカ人は彼らを支配する悪を倒すことができるか？

【訳者注】あるコメントがこのタイトルを引き、「何と愚かな質問だ！ 無類の騙されやすい、平均的アメリカ人に、そんなことができるものか！ 彼らは、自分たちが崖を飛び降りて集団自殺をするレミングだということに、まだ気づかないでいる」というのがある。おそらく名言である。アメリカ人に当てはまることは、日本人にも当てはまる。そしてアメリカでその責任者がメディアであるように、日本でも責任者はメディアである。アメリカの権威が絶大な上に、新聞やテレビの権威が絶大なわが国では、輪がかかっているだろう。違うところは、日本には、アメリカの「ウォルフオウィッツ主義」のような傲慢がない代わりに、従僕国としての誇りがある。

今年の11月には、おそらくこの最後の予想が当たるのではないだろうか？ 長く野ざらしになっていた FEMA の棺桶や、ナチス式拘置所がいよいよ役に立つのだろうか？

Paul Craig Roberts

August 30, 2016, Information Clearing House



ポール・ウォルフオウィッツ（Paul Wolfowitz）と、彼が政府の重要職にあったときについたウソは、7つの国での膨大な数の死者と大破壊をもたらした。ウォルフオウィッツは、自分がヒラリー・クリントンに投票する意向を表明している。人はなるほどと納得

するだろうか？

本当の驚きは、ウォルフオウィッツが、ドナルド・トランプ支持を表明した場合であろう。ではなぜ、これが予想通りなのか？

トランプは、ワシントンがロシアと始めた戦争に未来はないと言い、NATO が存続するのは無意味だと言っている。こうした平和の姿勢を示すために、トランプは、ウォルフオウィッツからみれば、“国家安全保証上のリスク”なのだ。ウォルフオウィッツの言う意味は、平和を唱える候補者は、アメリカの世界制覇を進める“ウォルフオウィッツ主義”を脅かすということである。彼や、ネオコンたちのキチガイじみた頭の中では、アメリカは、自分が

世界を支配するまでは安全ではないのである。

ヒラリーは戦争屋である。もし彼女が大統領になれば、究極の、そしておそらく最後の戦争屋になるだろう——彼女の傲慢と無能が一つになって、第三次大戦をもたらす可能性が大だからである。2015年7月3日、ヒラリーは宣言した——「もし私が大統領なら、我々がイランを攻撃する意思をもっていることを、イラン人に知ってもらいたい。…我々は彼ら全員を消滅させる（obliterate）ことができる。」狂気のヒラリーは、そこから更に続けて、ロシアの大統領を「新しいヒトラー」と呼んだ。彼女はおそらく、ロシアをも消滅させることができると思っているだろう。 <http://www.globalresearch.ca/hillary-clinton-if-im-president-we-will-attack-iran/5460484?print=1>

シオニスト・ネオコンのビクトリア・ヌーランドを、国務省の重職につかせたのはヒラリーである。ヌーランドの仕事は、ウクライナでのアメリカのクーデタを取り仕切ることで、それは、ロシアに不利なプロパガンダをもっと創り出し、ワシントンのヨーロッパ従僕国に対口制裁を強制し、ロシア国境に軍事基地を置かせ、核保有大国を挑発して、危険な緊張を高めるのが目的だった。

これはウォルフォウィッツの意図に完全に一致する。ウォルフォウィッツは、ヒラリーの国務長官になるであろうから、この2人が一つになれば、第三次大戦は間違いない。

ソ連が崩壊したとき、当時ペンタゴンの高官だったウォルフォウィッツは、**Wolfowitz Doctrine** を書いた。このドクトリンの主旨は、アメリカの対外政策の中心的目標は、アメリカの唯我独尊主義の妨げとなるような他国の台頭を防止することだ、というものである。これはロシアと中国を意味する。ヒラリーとウォルフォウィッツのコンビは、世界中の人間を震え上がらせるであろう。核兵器が、このような狂った2人の手にあるという予想は、考え得る最も恐ろしいシナリオである。

問題は、ヒラリーが、彼女の国家安全保障ルールへの侵犯にもかかわらず、選ばれるのかということである。それは腐敗したオバマから不起訴扱いを受けたが、もう一つ彼女の、十分に証拠のある自己取引があり、これは1億2,000万ドルの私有財産と、彼らの基金の形での16億ドルをつくり出した。クリントン夫妻が、公職を利用して私的な営利活動をしていることは、完全に明らかである。これはアメリカ人民が望むことか？——世界が核戦争に導かれていく一方で、2人の人間がますます金持ちになることが。

しかし選挙の投票の仕掛けについて言うと、この問題は、アメリカ人が何を望むかによって決まるのではなく、選挙の仕掛けが、どう投票を報告するようにプログラムされているかによ

って決まる。アメリカには、すでにいくつかのそういう投票があり、選挙結果が現れる前に勝者をいつも確実に予測する出口調査が、選挙結果と異なることが何度かあった。投票の仕掛けがどのようにプログラムされるかは、“独占権ソフトウェア”によって保護されている。この仕掛けは紙の上の記録を残さず、票数は残らない。

両方の政治陣営とも、激しく反トランプだとしたら、この機械は、どのようにプログラムされると、あなたは考えるか？ 実際、メディアはあまりにもトランプに反対しているから、出口調査が行われるどうかはわからず、行われるとしたら、曲げて報道されるのではなからうか？

共和党の投票者でなく、共和党の活動員たちが、トランプが共和党の票を“食っている”と勝手なことを言って怒っている。共和党の投票者たちが、他の候補者よりもトランプを選んだというのに、これは何ということか？ 共和党の活動員たちは、投票者でなく、自分たちが共和党の候補者を選べと言っているのではないのか？

もしそうなら、彼らは民主党員とそっくりである。数年前に民主党の組織は、投票者によって選ばれたのでない“スーパー代表者”をつくり出した。投票者の選んだ大統領候補を上回る能力を、党の組織に与えるに十分な、スーパー代表者がつくり出された。人民から選択権を最初に奪ったのが民主党員——人民の党ということになっている——だったということは、驚くべきことである。多くの情報から、実際は、バーニー・サンダースが民主党大統領指名を勝ち取ったのだが、投票詐欺と“スーパー代表者”によって、それを否定されたことがわかる。

これがアメリカの選挙である——完全に腐っている。クリス・ヘッジズが言うのは正しいかもしれない——革命を起こさなければ何も変わらない。

売春メディアによるトランプの悪魔化は、トランプが、その富にもかかわらず、「1パーセント」を構成する寡頭政治家から、彼らのアジェンダに対する脅威とみなされていることを証明する。したがって、売春メディアによるトランプの悪魔化こそ、彼が選ばれるべき証拠である。我々を抑圧する寡頭政治家がトランプを憎んでいる。したがって抑圧されたアメリカ人民は、トランプを支持すべきである。

売春メディアによるトランプの悪魔化は、共和党予備選挙では効果がなかった。それは大統領選挙では功を奏するだろうか？ それはわからない。なぜなら投票結果は、売春メディアによって報告されるのであって、トランプが報告するのではない。

もし悪魔化がうまくいかず、票数が選挙操作機械によって、トランプから盗まれなければならないとしたら、その結果は、アメリカ人民を過激化させることになる。これは、とうの昔にそうなるべきだった。おそらくこのような展開の予想が、すべての連邦諸部局が、郵便局も社会安全保障局も含めて、武器弾薬を用意している理由であり、(ディック) チェイニーの会社 Halliburton が、アメリカに拘置センターを建設するのに、3億 8,500 万ドルを支払われた理由である。

我々を支配する者たちは、世界戦争なしには、彼らの支配を手放そうとはしない。アメリカ合衆国では、悪が人民から権力を奪い、悪はそれを返そうとはしない。